

令和2年度

南区地域福祉推進のためのシンポジウム／学区社協活動交流会
健康すこやか学級交流会／高齢者の居場所運営に関する情報交換会

Withコロナ時代における 地域福祉のススメ

京都テルサ 東館3階 大会議室より
YouTubeによるライブ配信

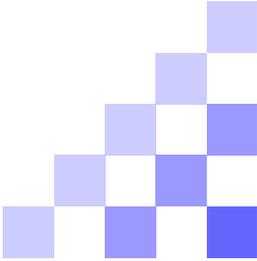
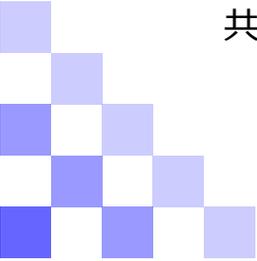
令和3年2月9日（火）午後2時～

主催／南区地域福祉推進会議

南区地域支え合い活動創出コーディネーター

京都市南区社会福祉協議会

共催／京都市南民生児童委員会



令和2年度

南区地域福祉推進のためのシンポジウム／学区社協活動交流会

健康すこやか学級交流会／高齢者の居場所運営に関する情報交換会

開催要項

1. 趣 旨

つながりのある地域づくりを進めるために地域福祉活動や居場所の取組が重要視されていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動の休止や縮小が余儀なくされています。

こうした現状の中、工夫をしながら活動を再開したり、つながりを絶やさないための取組を実践されている地域活動者から事例紹介をしていただき、さらに各団体の現況や感染対策等についての意見交換を行うことを通して、活動再開への後押しや新たなスタイルを取り入れた活動充実に寄与することを目的に本シンポジウムを開催します。

2. 主 催 南区地域福祉推進会議、南区地域支え合い活動創出コーディネーター、京都市南区社会福祉協議会

3. 日 時 令和3年2月9日（火）午後2時～午後3時50分（予定）

4. 会 場 京都テルサ 東館3階 大会議室より YouTube によるライブ配信

5. 対 象 各学区社協の役員・ボランティアの方
区内で高齢者を対象とした居場所を運営している団体
各種関係団体・機関など

6. テーマ ～With コロナ時代における地域福祉のススメ～

7. タイムスケジュール

時刻	内 容	発表者など
14:00	開会	
14:05	①基調報告（2団体×15分=30分程度） 新しい生活様式を取り入れながら活動を進めよう！	京都市社協地域支援部 南区役所健康長寿推進課
	②シンポジウム（3団体×15分=45分程度） コロナ禍における活動推進の工夫 地域活動者による事例紹介（質疑含む）	学区社協（2団体） 居場所（1団体）
	③情報交換会（30分程度）	フロアからの発言による 情報交換
15:50	まとめ、閉会	

8. その他 新型コロナウイルス感染防止のため、会場参加を中止し、YouTubeによるライブ配信を行います。



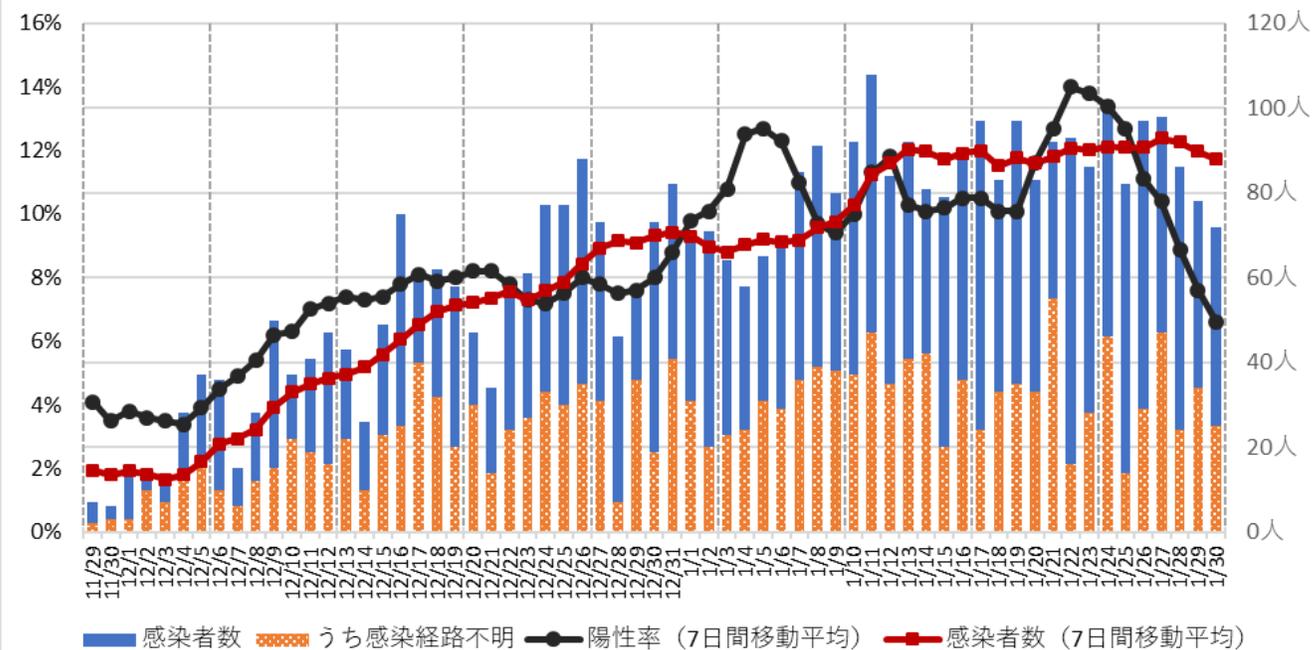
新型コロナウイルス感染症 について

～新しい生活様式を
取り入れながら
活動を進めよう！～

京都市南区役所 保健福祉センター
健康長寿推進課

京都市 の 発生状況

新型コロナウイルス感染者数（京都市内、日別）

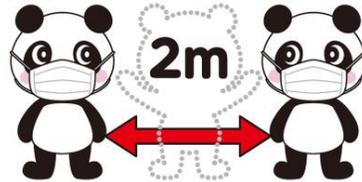


感染予防の基本

マスクを
つけましょう



NO！ 3密



手洗い・手指消毒



コロナ禍の活動は・・・

- 活動は、すいた時間、場所を選ぶ
- 会議はオンライン
- 打ち合わせは、少人数、短時間で済ます
- 換気とマスク、広い部屋で、十分な距離をとって
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

など



新しい
スタイル

基調報告 新しい生活様式を取り入れながら活動を進めよう！

－ コロナと居場所 つながり続けるために －

京都市社会福祉協議会 地域支援部長 横井 真

健康すこやか学級事業の実施状況



12月実施状況
 昨年度比較
 実施地域数 35%減
 参加人数 47%減

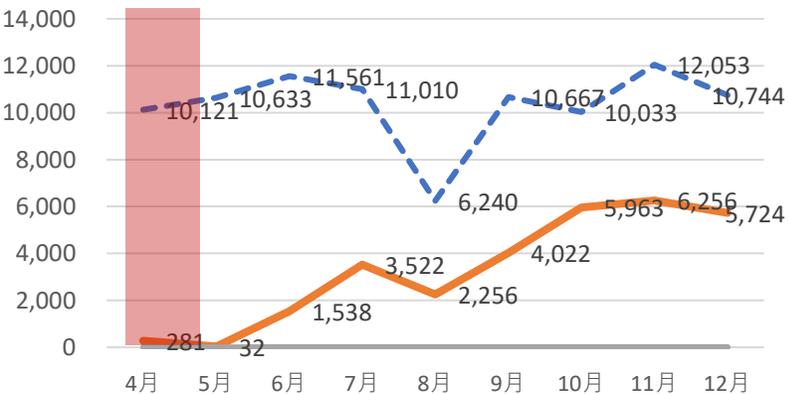


健康すこやか学級事業の感染症対策マニュアルに基づき実施

時間短縮、人数制限、屋外での実施等の工夫で対応

区役所保健師による感染予防の研修を地域活動者に実施

参加人数



ウィズコロナに対応した創意と工夫

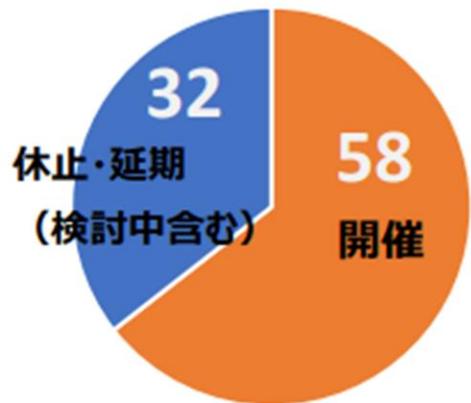
- ・「マスクが足りない、手に入らない」 → 自分たちで作り配布（見守りや地域貢献）
- ・「訪問できない。対面で話ができない」 → 電話・手紙（はがき）の取組
- ・「ストレスの蓄積。身体機能の低下」 → 屋外での実施、体操動画、ちらし等の作成
- ・「みんなで集まれない」 → オンライン（Zoom）を活用した取組
訪問活動（配食等）の実施



市社協「新しい生活スタイル×地域の絆づくり」1号～3号発行
 市社協広報誌「福祉のまちづくり 特集『こんな時だからこそ地域活動に取り組みました！』」
 京都市地域支え合い活動創出事業「今こそつながろう！」

子どもの居場所づくり（子ども食堂・学習支援）

市内96団体に令和2年9月～10月にアンケート
（子どもの居場所づくり「支援の輪」サポート事業）



約6割の団体
「通常どおりの開催」「通常と異なった開催」



(回答無2)

いま、必要な支援とは、どのようなことがあるか（複数回答）



活動へのステップ

ステップ 3

取組

- ・既存の活動に工夫を凝らして実施
- ・新しい内容での取組にチャレンジ
- ・今は休止し、今後の活動に向けた準備期間に

ステップ 2

話し合い

まわりの理解を得て、身近な声を拾いながら進めましょう。
運営者も参加者もお互いに安心安全な方法で、無理のないタイミングで、今できることを考えるところから始めましょう。

ステップ 1

暮らしを大切に

ご自分とご家族の暮らしの安全を優先し、健康管理や感染防止に配慮することが大切です。

今こそ **つながろう!**

～新しい生活スタイルのもとで支え合い活動を進めるヒント～

商品を買いたいけどお金が…

集まるときはどんなことに気をつけたいの？

他の活動者はどうしてる？

新しい取組を始めてみたいけど、何からすればいい？

ぜひ私たち、**地域支え合い活動創出コーディネーター**にご相談ください！
(前面のお問い合わせ先へ)

地域支え合い活動創出コーディネーター
社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室健康長寿企画課

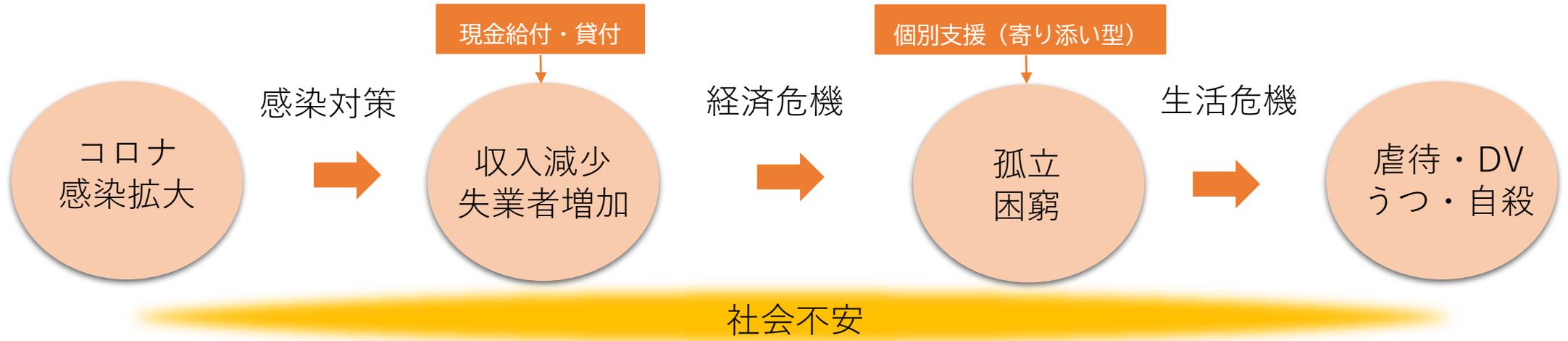
京都市

健康すこやか学級の方々は、「体を動かすことだけではない」と、

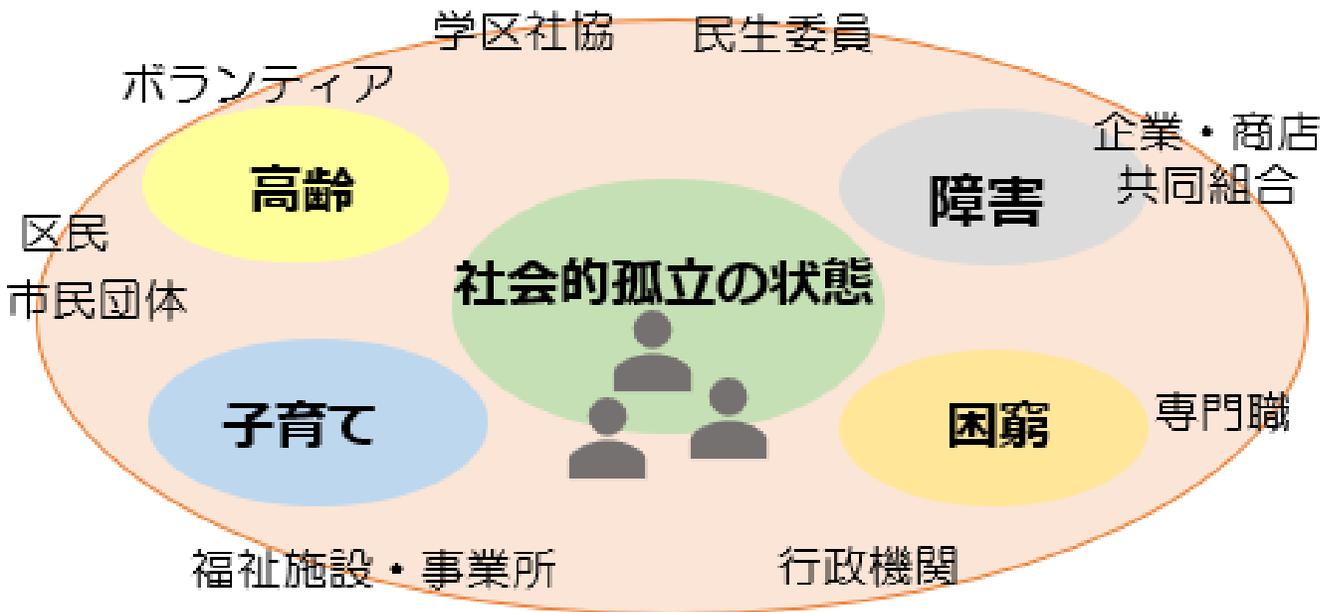
子ども食堂・学習支援の方々は「食べるだけじゃない」「教えるだけではないよ」と言われます。



大切にされていることは、**つながり続ける、ということ**



参考 第32回近畿地域福祉学会資料
NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長 湯浅 誠氏



コロナ禍の経験を踏まえて…
誰もが安心して暮らし、つながりのある地域づくり

「誰もがほっとできる居場所」「いろんな人が場をともにできる」
「主役になれる機会を作り、みんなで創る」